

～下田のデキゴト～



## 9/3 白浜大浜海岸ビーチクリーン

海浜回収ペットボトルリサイクルプロジェクトの一環として、ビーチクリーンを行いました。今夏、7海水浴場で海岸ゴミとして回収されたペットボトル約4,000本は、環境負荷の低い製品の素材にリサイクルされます。



## 9/3.4 全国のライフセーバーが集結

外浦海岸で全日本ジュニア・ユース・マスターズライフセービング選手権大会が開催されました。全国から26チーム460人が出場し日頃の練習成果を発揮しました。



## 9/5 下田幼稚園最後のお祭りごっこ

下田幼稚園で下田太鼓祭りをモチーフにした「お祭りごっこ」が3年ぶりに行われました。子どもたちは入園して最初で最後の「お祭りごっこ」です。若い衆のお囃子に合わせて子ども達が神輿を担ぎまわり盛り上がりました。



## 9/6 赤ちゃんふれあい体験

下田中学校2年生74人を対象に、助産師さん・妊婦さんからのお話や、実際に妊婦体験やベビー人形を使った模擬体験を行いました。これらを通して妊婦さんの大変さや命の大切さを学びました。



## 9/9 下水道の日キャンペーン

下水道への理解と接続を促すキャンペーンを市役所駐車場で行いました。訪れた市民の皆さまに汚泥から作られた肥料と花、野菜の種を配布しました。下水道接続へのご理解、ご協力をお願いいたします。



## 9/23 25年前の思い出に再会

市役所庁舎として改修される旧稲生沢中学校で1997年に埋設されたタイムカプセルが開封されました。当時の手紙や写真、教科書等を手に取りみんなで懐かしい思い出話に花を咲かせました。

### 9月の できごと

- 1日 下田幼稚園・下田認定こども園始業式
- 15日 下田市グローカルCITYプロジェクト 第2回グローカルワーキンググループ
- 20日 下田市スポーツ祭開会式

- 21日 寿大学
- 21日 秋の全国交通安全運動一斉街頭指導
- 23日 旧稲生沢中学校廃校備品無償譲渡会
- 23日 下田小学校運動会

# 地域子育て支援センター通信

問合せ先 地域子育て支援センター ☎02200



## 11月の予定

- 1日(火) まっちゃんとおぼろ 10時～11時  
講師 町田浩志先生 (つながり遊び歌)
  - 2日(水) めだかルーム 9時～11時30分
  - 4日(金) ふれあい遊び ※午後閉館(清掃・消毒)
  - 7日(月) 体操教室 10時～11時  
講師 鈴木理里先生  
場所: 市民スポーツセンター(サンワーク)
  - 9日(水) あひるルーム 9時～11時30分
  - 11日(金) 誕生日会
  - 14日(月) 体育館で遊ぼう 9時30分～11時  
場所: 市民スポーツセンター(サンワーク)
  - 16日(水) うさぎルーム 9時～11時30分
  - 18日(金) ふれあい遊び ※午後閉館(清掃・消毒)
  - 25日(金) 図書館読み聞かせ 10時30分～11時
  - 28日(月) 発育測定・育児相談 9時～11時  
保健師・栄養士来所
  - 30日(水) 遊VIVAさんと遊ぼう 10時30分～11時
- ※予定は変更になる場合があります。  
詳細は子育て支援センターまでお問い合わせください。



ハッピー子育て



誕生日会

さわやかな風が吹き、過ごしやすい季節になってきましたね。子育て支援センターでは、まどが浜海遊公園での「おでかけ広場」や、年齢別ルーム(うさぎルーム)では敷根公園の散策を計画しています。戸外に出て自然の中で一緒に外遊びを楽しんでみませんか。皆さまのご参加をお待ちしております。また、朝夕と日中との気温差が大きくなってきました。薄着を心がけながら衣服の調節をしていきましょう。



フロアの様子



ふれあい遊び

## こんにちは、市長です

★星新一の「ショートショート」から考える★

星新一の短編小説の一つに「おいででこーい」がある。台風のと、直径1m程の穴が見つかるとも深そうでおいででこーい」と叫んだが何の反応もない。石を投げて反響がない。みんな不思議がる。なんだろこの穴は。そこに業者が現れて、買い取りを申し出る。そして、その穴にいろいろな物が捨てられる。原子炉のカス(原文ママ)、実験動物の死体、昔の恋人の写真など。すべてのゴミが消えきれなくなったある日、空に向かってビルを建てている工事現場で作業員が「おいででこーい」と叫ぶ声を聞く。しかし、声のあった上の方を見上げて青空が広がるだけ。気のせいかと思って作業に戻った男のわきをかすめて小さな右ころが空から落ちてくる。それはそれは気づかなかった。という所では話はおしまいである。

どうするべきか考える中、この話を思い出したのだ。どんなゴミも飲み込んでくれる魔法の穴。そんなものは存在しない。一方、私たちの生活は、多種多様な工業製品に囲まれている。金だらけをもつて自転車のとうふ屋さんに「一丁ください」と言っていたあの頃からわずか50年の間に、私たちは便利で快適な暮らしを手に入れた。ボタンを押すだけで暖かい空気や冷たい風を出してくれるエアコン。お皿を回してチンといえれば温かくなる。しかし、こうした暮らしは本当にサステナブル(SDGsの始めのSはこの頭文字)、つまり持続可能だろうか。私たちは、あの町の住人たちと同じように不都合なことから目を背け、気づかないふりをしているだろうか。大切なのは、一人ひとりが暮らした方ではどう変えるのかであり、地球の上に生きる私たちは今まさに岐路に立っていると思うのである。

